



2022年9月1日発行  
 公益財団法人とちぎYMCA  
 〒320-0411  
 宇都宮市松原2-7-42  
 Tel 028-624-2546  
 Fax 028-624-2489  
 www.tochigiyymca.org  
 発行人 / 塩澤 達俊  
 編集人 / 公益財団法人とちぎYMCA

# YMCA News

8-9



## 「子育て・子育ち、保育園の子育てバックアップ」

表紙の写真から、ようとう保育園、1歳児の様子。園庭で泥遊びを楽しむ子どもたち。

私たちの身近には、子育てをサポートするさまざまな事業があります。一時的に家庭での保育が困難な保護者のための一時保育。日、祝日に勤務をしている保護者のための休日保育。病気やけがなどにより、集団保育が困難で、仕事など、家庭で保育ができない保護者のための病児保育。子育ての援助をしたい人と、子育ての援助を受けたい人がお互いに会員になって助け合うファミリーサポート。そして、7月からは、登園前と降園後にステーションで一時的に預かり、専用のバスで在籍する保育園に送迎する送迎ステーション事業が始まりました。これらのサポートのなかで、保護者の就労などに応じて保育を行う保育園が、一番身近なサポートとを感じるかもしれません。

では、保育園ってどんなところなのでしょう？

子どもたちにとって、一番の基本は、「安心できる生活の場」。

そこを土台にし、夢中になって、とことんあそびこむ経験ができるような環境を子どもたちと一緒につくります。そして、泣いたり、笑ったり、怒ったりする、子どものまっすぐな気持ちを受け止め、共感したりと、とにかく「子どもに寄り添う」保育をすることで、子どもの育ちを支えています。

保護者にとって、一番の基本は、「安心して預けることができる場」。

そのために、日中の様子を連絡帳や送迎時の会話を通して伝え合い、時には、

一緒に悩みながら、信頼関係を築くことで、保護者の子育てを支えています。

しかし、保育園だけでは、子育て、子育ちは、成り立ちません。保護者の力が必要です。

朝、バタバタと送り出し、夕方、子どもを迎えに行き、子どもの話を聞きながら、夕食、お風呂、寝かしつけ。そして、日中思いきり汚した服の洗濯、連絡帳の記入、次の日の準備...そんな繰り返しの毎日。実は、毎日の繰り返しや日々の小さな会話が、子どもたちの育ちを支えているのです。この保護者の大きな支えがあるからこそ、保育園での子どもたちは、全力で、あそび込むことができるのです。

子どもの育ちは、保護者の毎日の積み重ねや大きな力と、保育者の「子どもにとって、何が最善なのかを問い続ける」保育で成り立っているのかもしれない。

今日も朝から『おはよう!』『いってらっしゃい!』の声が、今日という日の期待と共に、夕方には『おかえりなさい』『さようなら、また明日ね』の声が、楽しかった一日の思いと一緒に保育園中に響き渡ります。

子どもも保護者も保育者も毎日繰り返される日常のなかで、支え合いながら、みんなが少しずつ成長していく場所が、保育園なのです。

ようとう保育園 主任保育士 沼口 会里子

とちぎYMCAの使命。 ~みつかる。つながる。よくなっていく。~

### 2022年度とちぎYMCA年間聖句

何も思い煩わないで、あらゆるばあいに、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

(ピリピ人への手紙 4章6節)



## 認定こども園 さくらんぼ幼稚園 「暑さに負けない子どもたち」



夏休みが始まり、ぺんぎん・いるか・くじら組では、毎日プールや戸外遊びを楽しんでいます。日差しが強く暑い日でも、「早く外に行きたい!」と言う子どもたち。「ワニ鬼ごっこ」「バブちゃん鬼ごっこ」など、日々いろんな遊びを考えて「一緒にやろう!」と誘う姿はまさに暑さ知らず。そんな子どもたちから毎日保育者がたくさんの元気をもらっています。

そんな子どもたちが遊ぶ園庭には、たくさんの花々があります。夏休みが始まる前に給食で出たスイカの種を植えたところには、小さなスイカが出来てきました。私自身、本当にスイカができるんだ!と驚きました。「ちっちゃなスイカかわいい!」と子どもたちは大興奮。これからの成長が楽しみです。



先日、いるか組の子どもたちと、夏ならではの遊びを行いました。ビーズを中に入れて凍らせた氷を、触ったり日に当てたりして溶かす氷遊びです。「冷たくて気持ちいい!」と言いながら手の上で氷を転がしてビーズを取り出す子や、濡れた手をデッキに付けて手形をとる子もいました。氷の冷たさや、少しずつ溶けていく楽しさを感じられたなら良かったです。

まだまだ暑さは続くと思いますが、暑さに負けず、元気に過ごしていけたらと思います。これからもいろんな遊び教えてね!

いるか組担任 古谷真菜

## ようとう保育園 「つばめ組(2歳児クラス)初めての運動会」



2022年6月18日(土)トライ東体育館で運動会を行いました。つばめ組は初めての運動会ということで、慣れない環境から泣いてしまうお子さんもいました。

親子競技の内容は、普段の生活で興味関心があることや、出来るようになった姿を見て頂きたく、絵カード

ドをバスの乗客に見立ててバスに乗せたり、フラフープをジャンプして進む運動あそびを盛り込みました。

絵本の読み聞かせでは、いろいろバスの本が好きで、ページをめくると、赤、青、黄色、緑などの色の名称も沢山出てきます。それに伴い「バナナはきいろだね」「いちごは赤いね」など物と色が一致してくるようになり、色への関心、認識が深まってきました。戸外では、追いかっこやフラフープを並べてジャンプする姿も。最初はなかなか両足を揃えて跳ぶことができず、フラフープを走り抜けていたのですが、繰り返しあそぶことにより、跳

ぼうしたり、両足を揃えてジャンプすることも出来るようになってきました。

そんな園で成長した姿を見て頂きながら、大好きなお家の人と触れ合いながら楽しむことができたのではないのでしょうか。子どもたちからは「うんどうかいたのしかった」「パパとやったんだよ」「またやりたい」との声を聞くことができました。これからも、五感を使ったあそびを保育の中に取り入れ、楽しんでいきたいと思ひます。短い時間でしたが、ご参加、ご協力ありがとうございました。



2歳児つばめ担任 石塚 亜紀

## ～子どもの家だより～ 清原東小子どもの家(イーストクラブ) 「夏休みの駄菓子屋さん☆」



イーストクラブでは毎年恒例になっている駄菓子屋さんを夏休みに2回開催しています。駄菓子屋さんは、画用紙や紙で作った財布とお金を手に、駄菓子を買ったり、水鉄砲やキャラクターのくじ引きをしたり、スーパーボールすくいなど、子どもたちに大人気の行事です。夏休みに入ると「今年は駄菓子屋さんいつやるの?」「その日は絶対イースト

行くから!」「早く駄菓子屋さんやりたいよ!!!」と子どもたちが待ち遠しい様子でした。駄菓子屋さんが始まるとくじ引きとスーパーボールすくいで行列ができ、くじ引きで1等を当てようと何度も挑戦している子やポイの紙が破れても一生懸命すくおうとしている子もいました。今年の駄菓子屋さんも大盛況のうちに無事終了しました。

主任支援員 五月女 実沙紀

## 宇都宮市青少年活動センター トライ東 「あそぼまつりを開催しました!」

2022年7月9日(土)に毎年恒例の「あそぼまつり」を開催しました。

コロナ禍や猛暑続きの中、約350名という沢山の皆さんで賑わい、無事にお祭りを開催することができました。

お祭りでは、東YMCAの英語講師による英語であそぼうのコーナー(ジンバブエの遊び体験など)、城南囃子会による演奏、宇都宮ブルックスマスケットキャラクターのブレイキーとの交流会などと、体験コーナーも充



実していました。

さらには、公園内で飲食のできるテイクアウトブースや駄菓子・お面・お祭りグッズの販売を行い、盛りだくさんなお祭りでした。

来場された皆さまは、それぞれが各ブースを回り、ゲームをしたり、食べ物を購入したりとお祭りを楽しんでいる様子でした。

また、子どもたちには特にレクリエーションブースに設置したスタンプラリーの人气が高く、ストラックアウトや水

ヨーヨーなどに沢山挑戦していました。依然として新型コロナウイルス感染症の脅威が続いている中、たくさんの方のご来場、お力添えを頂いたこと、そして感染症対策へのご理解とご協力頂きありがとうございました。

おかげ様で地域の皆さまと、ボランティアの方々の笑顔溢れるとても良いお祭りになりました。スタッフ一同感謝申し上げます。



## 特別養護老人ホームマイホームきよはら 「夏の装い」



暑さが本格的になり大変な毎日ですが、マイホームきよはらの皆様はお元気に過ごされています。7月7日に七夕がありました。マイホームきよはらの利用者様は七夕飾りを職員と一緒に作成されていました。なかなか手に力が入らない方や麻痺がある方が協力し

て折り紙にのり付けされている姿などが見られました。一緒に協力されながら作る姿がとても素敵でした。短冊も書いていただき、「コロナが早く落ち着きますように」「世界平和を願っています」など様々なお願い事をされていました。その願いが叶うように職員も願っています。暑い日が続いた7月上旬に企画でかき氷を作って召し上がっていました。かき氷を見ると夏が来た感じがしてとても楽しそうにされていました。

利用者様の普段では見られない笑顔や表情が見ることができ、職員が夏の暑さを飛ばすことが出来ました。普通は外に出て周りの装いで季節を感じる事が出来ますが、施設に居ると感じにくいことがあります。そのため季節に合った催し物や飾り付けなどを行い、利用者様により多く季節を感じて頂けるよう心がけています。まだまだ暑い日が続きますが元気なマイホームきよはらの利用者様の様子をお伝えしたいと思います。



# おやこ英語ひろば Big Hugのご案内

Hello, everyone! YMCA イングリッシュでは、宇都宮東YMCAとトライ東を会場に「おやこ英語ひろばBig Hug」の活動を行っています。今年で4年目に入り、のんびりゆっくりですが皆さまに支えられて活動を続けてこられました。この夏もたくさんの未就園児のお友だち、保護者の皆さまにご参加を頂き本当にありがとうございました。夏休み期間中は新規でご参加くださったお友だちも多く、また、Big Hugの卒業生がお顔を見せに来てくださったり（すっかり立派なお兄さんお姉さんになられて!）、そして今度はその卒業生の弟さん妹さんのご参加もあり（以前はまだママのお腹の中や、抱っこ紐の中だったお友だちも!）、新しい出会いに嬉しい再会が続き感謝の思いです。



未就園児親子対象の英語プログラムは、他にも、ネイティブ講師による「1st step おやこ英語クラス」も東YMCAにて開講を準備しています。詳細をウェブサイトにてご案内しておりますので、ぜひお気軽に遊びにいらしてください。

We are looking forward to seeing you soon!



↑詳細はこちらから

Learning by doing ～成すことによって学ぶ～

## サマープログラム、ありがとうございました!!

とちぎYMCAではこの夏も子どもたちの全人的成長を願い、サマープログラムを計画しました。コロナウイルスの影響により、参加者様の皆様、ご家族の皆様にはより一層のご理解とご協力をいただきました。みなさまのお力添えに心より御礼申し上げます。



YMCAのキャンプは、「為すことによって学ぶ (Learning by doing)」を理念とした野外教育活動です。その理念は、「どのような教育的な経験も、子ども(対象者)の興味・関心から離れていたら、その経験は子ども(対象者)にとって本質的なものにならない。よって興味と自発性に基づいて子どもを導く」という考え方に導かれたものです。

子どもたちは、友だちやリーダーと一緒に自然の中でさまざまな活動をするによって、人間関係を学び、自然・社会への関心を深めていきます。YMCAでは、子どもたちが安全に、安心して、たくさんの自然に触れながら、仲間と一緒に思いっきり遊ぶことを通して、一人ひとりの豊かな成長を育みます。



今年のサマープログラムはお子様にとって、どのような思い出となったでしょうか。きっとお子様が感じる思い出と、ご家族が感じる思い出はまた違ったものになっていることと思います。

私たちとちぎYMCAのサマープログラムの体験は、ご参加されたみなさまとご家族に、日々生活を送っていく中でじわじわと体験の効果が届いていくことを大切にしています。私たちが行う野外教育プログラムには7つの目的があります。



1. 自然生活を楽しみ、自然に適応する能力を身につける。
2. 良い習慣を経験し、良い習慣を身につける。
3. 健康のための知識と経験を与える。
4. 生活を豊かにする技術を学び、創造力を育む。
5. 良き友人を作る方法を学び、創造力を育む。
6. 民主的なグループ経験から、社会に関わる責任感を養う
7. 神の恵みを知り、感謝の気持ちを養う。

これらの目的は「自然と他者(ヒト)と自分」が密接にかかわっていく中で達成されていくもので、まさしく他我を触媒として自我を目覚めていくものです。YMCAのプログラムが実施できるのも、お子様を送り出すご家族の勇気と、たくさん初めてと向かい合える子どもたちの適応力と、リーダーの熱い思いがあつてのおかげです。



私たちYMCAでのキャンプ体験がこれからのお子様の成長の糧となり、時間をかけて実っていただけたら幸いです。ウィンタープログラムもどうぞよろしくお願いいたします。

私たちは障がいのある子どもたちを応援しています。

## 第15回とちぎYMCA インターナショナル・チャリティーラン2022を開催します!

YMCA インターナショナル・チャリティーランは、障がいのある子どもたちを支援するとともに、「障がい」への社会的な理解と関心を高めることを目的とした駅伝大会です。その参加費は障がいのある子どもたちが様々な体験活動をするための資金として活用させていただきます。

1987年、全国初のチャリティーランが東京で開催され、現在は、YMCA インターナショナル・チャリティーランとして、全国21カ所に広がり、「LOVE ON THE RUN」をスローガンに年間1万2千人以上のみなさまにランナーやボランティアとして参加していただいています。

2022年10月9日(日)  
9:00 ~ 13:00

@道の駅うつのみや  
ろまんちっく村 にぎわい広場  
(栃木県宇都宮市新里町丙 254)

詳細はホームページよりご確認ください。



日本におけるウクライナ避難民支援

# チャリティーコンサートのご案内



◇大野紘平 (こへまる) ピアノ・コンサート for ウクライナ  
ロシアによるウクライナ侵攻から6か月が過ぎ、支援疲れ、やマンネリ感、などから戦争が少しずつ遠くに感じられるようになっていきます。

しかし、少なくとも5,000名以上のウクライナ市民が戦争に巻き込まれて死亡し、うち300人を超える数の子どもも命を奪われ、戦禍は長期化しています。

また、国外に逃れた人の数は956万人を超え、日常生活を取り戻せないままたくさんの人々が避難し続けています。

そのような中、日本YMCA同盟のルートを通じて約200人(日本全体では約1,500人)のウクライナの人々が来日し各地で避難生活を送っています。

日本における戦争避難民の方々には受け入れ自治体の支援もありますが、日常生活に寄り添った支援については、「ことば」「しごと」「子育てや介護」「心の寄り添い」「コミュニティへの参加」などまだまだ寄り添ったサポートが必要です。

そこで、とちぎYMCAでは「日本におけるウクライナ戦争避難民支援チャリティー・コンサート」と題し、日本に滞在中の戦争避難民の方々への生活支援を目的としたチャリティー・コンサートを企画しました。

益金は、在日ウクライナ大使館を通じて日本に暮らすウクライナ戦争避難民の方々への支援に宛てていただきたいと思いますので、ぜひ!チャリティー・コンサートでこのアクションをお支えください。

※詳しくは、とちぎYMCA ホームページ、チラシなどをご覧ください。

と き：9月27日(火) 19:00 -  
ところ：栃木県総合文化センター【サブホール】  
内 容：大野紘平ピアノコンサート  
(とちぎ未来大使、人気若手ピアニスト)  
トランペット - 田尻大喜(友情出演)  
チケット：会場観覧¥3,000 Web¥2,000



↑お申込みはこちらから



## 月刊#(ハッシュタグ)



とちぎYMCA総主事  
塩澤 達俊

### 第16回 #なにそれなにそれ

#### #ツクツクボウシ#二項対立#truth

子どものころ夏と夏休みが大好きで、夜の虫が鳴き始める今頃は毎年ちょっとブルーでした。

こうした感性からすると「ヒグラシゼミ」はとても良い奴で、反対に「ツクツクボウシ」はとても悪い奴ということになります。

なぜかという、梅雨明けごろ盛夏の到来を告げ♪カナカナカナカナ〜♪と朝夕に鳴く「ヒグラシゼミ」は夏を呼ぶとてもよい良いセミ!

ですが、♪(夏が去るのを) つくづく惜しい、つくづく惜しい♪ときまってお盆過ぎに鳴き出す「ツクツクボウシ」は夏を終わらせる悪いセミになるからです。

「ツクツクボウシ」が鳴くから夏が終るのだ! 彼奴さえ鳴かなければ夏が続くにちがいない!

と八つ当たりをして、電柱や樹木で鳴いていればすかさず石を投げ(まず当たりませんが...) 黙らせたものでした。

「ツクツクボウシ」にしてみればまったく迷惑な話です。

ところで、ものごとの「良い⇔悪い」とは、だれが、どこで、どのように決めているのでしょうか?

もちろん、神さまは(ヒトも、虫も、植物も)すべての命を良いものと悪いものとに分けてはつくられません。事実《益虫と害虫》は人間にとっての「益」で分けられたものにすぎず、もともと良いも悪いもなく、虫は虫です。

このように、互いに対立する一対の概念、例えば、内側と外側、明と暗、自と他などの関係で捉える構図を《二項対立》といいます。一見、概念を二つに分けて対立させているように見えますが、実は「内側だけ、外側だけ」「明だけ、暗だけ」「自だけ、他だけ」では存在しえないものごとの両義性を浮かび上がらせて「ひとつの」ことを仮の二つの面から見ているのにすぎないという構図であることも分かります。

「真実・truth」が、一つだと思えないほど複雑だったり、無限に回転するような眩暈を覚えたり、見通せない深遠さがあると感じさせるのは、こうした理由からでしょうか?



「もったいない」を「ありがとう」に

### 食品寄付 「フードドライブ」にご協力をお願い

生活困窮者への支援、また世界の食糧問題を考える機会に、ご家庭で余剰となっている食品のご寄付をよろしくお願いします。

#### 【食品の支援先】

児童養護施設、母子支援団体、女性シェルター、福祉施設など

#### 【募集期間】

2022年9月上旬~10月上旬

#### 【集荷場所】

宇都宮YMCA・さくらんぼ幼稚園、宇都宮東YMCA、トライ東

### ★ 寄付してほしい食品 ★

1. 未開封のもの
2. 賞味期限がなるべく1か月以上あるもの
3. 冷蔵や冷凍でないもの

例) ギフト食品(お中元など)、レトルト食品、缶詰、おかずになるもの、乾麺類。酒類は除く。



とちぎYMCAの日常をご覧ください。

instagramもはじめました!

tochigi\_ymca

